


分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	331	生涯学習環境の充実
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	各種団体・サークル等活動支援事業		会計	款	項	目	261,400	中央公民館
			一般	10	4	2		
事業の概要								
地域の文化力向上のためには、市民の自主的な学習と団体の活動が不可欠です。活発化された活動が地域に還元されることにより、地域全体の文化振興とコミュニティ活動の促進につながるため、社会教育施設としての中央公民館を拠点として活動するサークルや団体の活動を推進します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	公民館登録サークルの市民参加人数				単位	人
	現 状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	3,437(平成26年度)	目標	3,480	3,510	3,540	3,570	3,600
		実績	3,818				
	指標	公民館(社会教育ホール)利用者数				単位	人
	現 状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	79,916(平成26年度)	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	67,825				
	<p>・公民館サークル連絡協議会(略称:公サ連)の会員が中心となり、公サ連まつりの実施や市民ギャラリーの作品展示、ガラシャまつりのオープンハウスを利用したサークル加入のための啓発活動を実施しました。</p> <p>・その他、会員交流会、ガーデニング教室、他市町村との意見交換会の開催など、サークル活動を発展させていくための取り組みを支援しました。</p>						<p>公サ連まつり</p> 

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
		—	—	—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・平成28年度の公民館登録サークルの市民参加人数は、3818人(サークル会員の市内構成員数)となり、平成27年度と比べると185人増となりました。公民館登録サークル170団体のうち、公サ連へ加入している団体は40団体、628人であり、平成27年度と比べると増減はありませんでした。公民館利用者数については、平成29年1月から公民館全館で空調工事を実施したこと等により、目標を下回る結果となりましたが、工事期間中も貸館業務を行ったため、大きく減少することはありませんでした。</p>
課題等	<p>・登録団体や登録人数に対して公サ連への加入割合が少ない状況です。公サ連へ加入するメリット(社会教育ホールの優先利用等)が昔に比べて少なくなっていることが原因として考えられます。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1:計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <p>・公サ連まつりの支援や、施設予約方法の見直し、会員との意見交換等により、公サ連に対する支援体制を強化し、加入サークルを増やすための取り組みを推進します。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	331	生涯学習環境の充実
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につなげている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	公民館定期講座開設事業		会計	款	項	目	957,220	中央公民館
			一般	10	4	2		
事業の概要								
地域の文化振興と生活向上のためには、生涯学習環境の充実が必要であり、市民の自主的・主体的な学習意欲の喚起を図るために、市民の多様な学習ニーズに対応し、ライフステージや現代的課題に即した学習機会や学習情報の提供、相談体制を充実します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	公民館講座の参加率(参加予定者数÷定員数)				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	90.4	90.8	91.2	91.6	92.0
	89.8(平成26年度)	実績	93.1				
<p>・各世代のニーズや課題に応じた各種講座として、青少年教育(子ども手作り教室3回)、成人講座3回、男女共同参画(男女共同参画講座4回、多文化共生子育て講座3回)、高齢者教育(熟年生き生き講座8回)、家庭教育(家庭教育学級1回、びよびよクラブ8回、びよびよクラブイベント講座2回、幼児家庭教育学級1回、子育てふれあいルーム69回)、現代的課題講座(日本語教室8回)、健康教育(健康講座3回)、福祉教育(聴覚言語障がい者学級1回)、環境教育(子どもエコ教室3回、環境教育ミーティング6回)、市民教養講座2回、移動公民館講座2回を実施しました。</p>						<p>現代的課題講座</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—	—		—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・講座終了後に参加者へのアンケート調査を実施し、講座の効果等を測定しています。アンケートでは、「とても楽しかったです」(幼児家庭教育学級より)「このような機会をまたつくってください」(健康講座より)などの意見が多数ありました。また、アンケートの集約結果を講師に速やかに返すことにより、各回の講座に反映させることができました。市民の学習ニーズを的確にとらえた講座を実施することができ、参加率が上昇しました。</p>	
課題等	<p>・市民の学習ニーズや解決すべき現代的課題が年々変化しているため、それらをいかに把握し、事業内容に反映していくかが課題です。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <p>・アンケート結果や公民館運営審議会等の意見を踏まえて、開催時期や講座内容、実施回数を精査し、市民の実生活に即した魅力ある講座を企画していきます。</p>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	331	生涯学習環境の充実
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	中央生涯学習センター管理運営事業		会計	款	項	目	74,359,960	生涯学習課
			一般	10	1	5		
事業の概要								
市民の自主的・自発的な生涯学習活動の場として、中央生涯学習センターを管理運営します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	中央生涯学習センター貸室利用率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	48.0	48.5	49.0	49.5	50.0
	47.8(平成26年度)	実績	51.9				
<ul style="list-style-type: none"> 中央生涯学習センターの管理運営は、指定管理者である大阪ガスビジネススクリエイト株式会社へ委任しています。 指定管理者の自主事業として、はじめの一歩体験会（「はじめてのダブルダッチに挑戦!」「はじめてのボードゲーム会」）、ふらっとコンサート、バンビオ展示ウィーク、バンビオ健康の集い（「演歌ビクス体操」他）、バンビオライブ缶（ダンスの貸室利用者の合同発表会他）、子育て応援講座（離乳食セミナー他）、みんなの自習室などを行いました。 生涯学習機関紙「be→!」を年4回発行し、そのうち2回を全戸配布、うち2回を自治会回覧しました。 						はじめてのボードゲーム会の様子	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		主な社会教育施設の利用者数		年間約40万人の利用者で推移しています。
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 時間貸し施設(会議室、リハーサル室、食工房など)の貸出が好調で、17施設中14施設の利用件数が増加しました。 区分貸し施設はギャラリー1と特別展示室の利用は増加しましたが、メインホールの利用は減少しました。 	
	課題等		稼働率、利用時間、利用件数は前年度に比べ伸びたものの、利用人数は横ばいとなりました。時間貸し施設の少人数の利用案件が増えたものの、特にメインホールの利用が減少傾向にあります。	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	対応策等 ・メインホール、ギャラリー、特別展示室の区分貸し施設の利用を増やすため、利活用方法の案内や広報を指定管理者と連携して行います。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ
施策	331	生涯学習環境の充実
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	図書館サービスの推進・充実		会計	款	項	目	27,933,799	図書館
			一般	10	4	3		
事業の概要								
<p>市民の教養と文化の発展のため、全ての住民の読書を通じた生涯学習の中核施設である図書館資料を充実するため、図書の計画的な入れ替えを図って行きます。特に読書意欲の醸成を行うには幼少期から図書に親しむことが大切であることから、「えほんのひろば」「子どもの広場」等幼少期から本に親しむ事業を展開しながら、特徴の一つである児童書の充実を図って行きます。</p> <p>また、市民に利便性の高い図書館サービスの充実を図っていくため、開館時間の延長・ブックポストの増設・図書館に来ることができない高齢者・障がい者に対する図書の宅配サービス等を図書館の運営形態の在り方を含め検討を行います。</p>								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	図書館図書貸出冊数				単位	冊
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	426,000	432,000	438,000	444,000	450,000
	410,400(平成26年度)	実績	422,928				
<p>・ 図書資料の貸出・返却・予約業務が円滑に遂行できるようワークフローを見直し、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組みました。また、社会情勢及び時期を見計らって、市民ニーズの高いと思われる「情報コーナー」を設けることで、図書館から積極的に情報発信を行いました。</p> <p>・ 図書館行事としては、定期的(月1回)に「えほんのひろば」「子どもの広場」「おはなしとブックトーク」「子どもの本を読む会」を開催しています。また、年間行事として「身近な科学あそび」「読書講演会」「戦争と平和展」「対面朗読サービス」「えほんとあそび」などを開催しています。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・ 来館者の学習意欲を満たすと思われる情報を調査し、蔵書を的確に整備した効果がありました。また、図書館事業で、読み聞かせの本の選び方や語り方を学ぶ「読み聞かせボランティア養成講座及び実技講座」を実施することで、次世代の担い手育成に取り組んでおり、子育て世代からシニア世代まで受講されていて、読書意欲及び読書習慣の醸成に効果をあげていると考えられます。
	課題等			・ 学習及び情報収集するうえで、インターネットや携帯電話により「見る」「聞く」ことができるため「活字離れ」が社会問題となっています。特に学生世代と就労者40~50歳台の利用者が少なく、今後の大きな課題です。

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	2: 進め方の改善の検討が必要	・ 図書館協議会において、平成28年9月に「長岡京市立図書館サービス計画」を策定、合意により、図書館が目指す方向性が決まり、その実現に向けた取り組みを、順次推進してゆきます。